

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和4年度第3回(通算7回)ジョンソン基地跡地利用計画審議会
開 催 日 時	令和5年3月23日(木) 午前10時00分 開会・午前11時20分 閉会
開 催 場 所	入間市役所C棟5階 501会議室
議 長 氏 名	関根 栄一(ジョンソン基地跡地利用計画審議会会長)
出席委員(者)氏名	安登 利幸、織田 文代、金田 晋、木内 正人、熊木 真知子、 桑田 五郎(兼ワーキングチーム)、小林 昌幸(兼ワーキング チーム)、岩澤 貴顕、関根 栄一、藤田 勝仁、三浦 重美、 水村 小百合
欠席委員(者)氏名	池田 拓、小嶋 文、矢崎 勝好
説明者の職氏名	企画部参事兼企画課長 黒木 聡子 都市整備部参事 西川 旭 企画部副参事 宮澤 昌樹 企画部副参事 片岡 成浩 企画課政策・渉外担当 中島 良太
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開会 2 会長あいさつ 3 議題(公開) (1) 利用計画見直し内容(案)について 4 事務連絡 5 閉会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	3名
配 付 資 料	次第 資料 26: ジョンソン基地跡地留保地(入間市駅前側)利用計画の見 直しについて(答申)(案) 資料 27: 民間事業者サウンディング調査概要版 資料 28: 民間事業者追加サウンディング調査概要版
事務局職員職氏名	企画部長 岩田 正博 都市整備部長 平沼 宏之 企画部次長 栗原 康友 都市整備部参事 西川 旭 (兼ワーキングチーム) 企画部参事兼企画課長 黒木 聡子 企画部副参事 宮澤 昌樹

	企画部副参事 片岡 成浩（兼ワーキングチーム） 企画課政策・渉外担当 主査 堀内 香織 企画課政策・渉外担当 主査 中島 良太 企画課政策・渉外担当 主事 増田 裕太
同席者	入間市副市長 濱川 敦
会議録作成方法	要点筆記

## 会 議 録 (2)

### 議 事 の 概 要 ( 経 過 ) ・ 決 定 事 項

議題(1) 利用計画見直し内容(案)について

ワーキングチームから説明した後、意見交換を行った。意見を踏まえて答申案を修正し、次回の審議会で再度審議することとなった。

### 会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
	(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する。)
関根会長	議事に入る前に、前回の会議で委員からあった質問について、事務局より説明をお願いします。
事務局	(東町側留保地に係る審議会等の経緯について説明)
関根会長	事務局の説明に対し、何か質問はあるか。
三浦委員	東町側留保地に関する審議の際は、現在の入間市駅前側留保地の議論の様に、具体的な活用内容の検討があったのか。
事務局	防衛省による活用の是非、災害対処拠点として活用したいという申し入れの是非について審議会で審議を行い、答申を行った。
事務局	(資料27、資料28に基づき、サウンディング調査について説明)
関根会長	事務局の説明に対し、何か質問はあるか。
木内委員	回答を得られなかった事業者には、なぜ回答を得られなかったかといった次のステップについて伺っているか。
事務局	伺っている。前回報告した、留保地開発における条件が具体的にないためというのもあるが、ニーズがないためという理由もあった。

発 言 者	発 言 内 容
関根会長	議題（１）利用計画見直し内容（案）について 事務局より説明をお願いする。
事務局	本日の審議会に先立ち、審議会下部組織であるワーキングチームに利用計画見直し内容（案）について検討いただいた。審議にあたり、ワーキングチームから検討状況を報告いただく。
小林委員	ワーキングチームでは、先ほど事務局より説明のあったとおり、利用計画見直し内容（案）について先行して検討を進めてきた。ワーキングチームの検討結果について報告する。
ワーキングチーム	(資料２６)に基づいて説明)
関根会長	質問も含め、何か意見はあるか。
安登委員	<p>基本理念は、「入間市の顔」という表現も良いが、「埼玉県南西部のゲートウェイ」といった、もう少し広がりやインパクトのあるものでも良いと思う。説明文は、「稲荷山公園駅ではなく」という表現は使わない方が良い。また、「入間市駅“周辺”に向かいたくなるような」と、駅に限定しない表現の方が良い。</p> <p>整備コンセプトは、列挙の最初に埼玉版スーパー・シティプロジェクトといったユニークな点、特筆すべき点をもってきているところが良いと思う。ここに追記する必要はないが、スーパーシティにおける主な取り組みの想定を持っておいた方が良い。また、このコンセプトを大切にし、情報発信等で活用いただきたい。３つめのコンセプトも、先ほどと同様に「入間市駅“周辺”」という表現の方が良い。４つめのコンセプトの「風格」という表現は、人によって捉え方が異なると思われるので、「魅力ある」</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>といった表現も良い。「駅に降り立つ」と駅利用に限定せず、「来訪者」と表現しても良いのではないかな。</p>
三浦委員	<p>導入機能イメージは、列挙した機能について理解するが、もう少し絞り込んでも良いと思う。例えば、交通インフラは、鉄道・広場・道路などがシームレスな形でつながるといった、一步踏み込んだイメージにしてはどうか。商業機能は、広域商業を想定しているのであれば、インバウンドのような表現も加えてはどうか。</p> <p>入間市駅北口土地区画整理事業との関連性も含めてはどうか。また、全体的に横文字が多くて、読み解くのが大変である。</p> <p>質問で、「埼玉版スーパー・シティプロジェクトにエントリーし」とあるが、エントリーすると何か恩恵があるのか。また、入間市駅北口の整備はどのようになっていくのか。</p>
事務局	<p>埼玉県の実策に即し、先進的なまちづくりの取り組みを行っているというPRにつながる。</p> <p>入間市駅北口は現在、具体的な内容を示せる段階ではないが、整備コンセプト2つめの「周辺市街地と調和」が入間市駅北口も視野に入れており、入間市駅北口整備の詳細も今後踏まえながら、調和を目指していく。</p>
三浦委員	<p>入間市駅前側留保地も東町側留保地と同様に、入間基地に隣接している。市としての災害対策としての使い道もあるのではないかな。例えば、シェルターを作り、普段は別の用途に活用するといったものである。</p>
事務局	<p>埼玉版スーパー・シティプロジェクトの要素にある「レジリエント」が、強靱化という意味であり、ご意見あった点も含めて考えていきたいと想定している。</p>

発 言 者	発 言 内 容
木内委員	<p>私も入間市駅北口との兼ね合いは重要な点であると考えている。入間市駅北口・南口、西武鉄道が一体となった駅前広場を目指してはどうか。豊岡小学校 PTA としては、河原町の児童が駅を通して通学することはなるべく避けたく、北と南の駅前広場接続による通学路が望ましい。駅の利便性向上や子どもを大切にしたまちづくりにより、市民が10～20年先も住み続けることにつながる開発になると良いと感じる。</p>
織田委員	<p>整備コンセプトを見て、魅力的なまちづくりの構想であると感じた。学生・教職員が授業の合間などに活用できる商業機能、文化・交流機能の導入に期待する。東京家政大学は、リハビリ等専門分野の学生が在籍しているため、文化・交流機能においてまちづくりの推進に連携・一助できると思う。</p> <p>交通アクセスにおいては、安全性の確保も加えていただきたい。</p>
水村委員	<p>昔から入間市は緑豊かなイメージであり、以前に留保地を現地確認した時も、現状の自然を活かした活用が良いと感じた。例えば、『音楽のあふれる森』として、野外コンサートができる環境があれば、コロナ禍以降に披露の場が減少している音楽サークルなどの発表の場にもなると思う。音楽フェスの会場でも電気・ガス・水道が完備されているわけではないし、今後は太陽光発電などの様々な工夫もできると思う。一部伐採した木は、ジップラインやツリーハウスなどの作成に用いて、『わくわくするような森』ができれば、車や電車から見た人の興味を引き付ける場所になると思う。キッチンカーが入ったり、カフェがあったりして、学生も食事ができたりすると良い。</p>
岩澤委員	<p>今後の進め方について伺いたい。現在検討している内容は、どのような形で具体化されていくのか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>また、公共交通や人口減少対策など、様々な観点を包含してまとめあげるのか。</p>
事務局	<p>次回審議会で答申内容を確定し、答申に進む想定である。市は、答申を踏まえて利用計画をまとめる予定である。</p> <p>様々な観点との兼ね合いは、今後利用計画をまとめていく中で具体化していく想定である。</p>
岩澤委員	<p>様々な計画でも、一定の計画期間、目標時期があると思う。スケジュール感と噛み合っているか、確認しながら進めていただきたい。</p>
藤田委員	<p>あれもこれも盛り込んで、中途半端な内容にならないようにしていただきたい。これが入間市にとって重要というものに優先順位をつけて、近隣市との差別化を図っていただきたい。市外から人を呼び込むことも大事だが、昔から住む人も大事にしたまちづくりを検討いただきたい。</p>
金田委員	<p>方向性に異論はない。サウンディング等から経済環境や社会情勢を鑑みると、このような内容になると理解する。</p> <p>今後の検討のあり方にも記載されているように、民間事業者の意向を継続して確認いただきたい。幅広い業種に聞けば、また違った良いアイデアが出る可能性もあるかもしれない。</p> <p>再開発事業は、どこも似たようなものが多いイメージである。商業施設を作れば当然人は集まりやすくなるが、それだけではなく、入間市ならではの特徴的な事業を検討いただきたい。</p>
安登委員	<p>水村委員と同じく、わくわく感のあるものが大事であると感じる。一方で、公共施設マネジメントの要件もある。サウンディングの資料にも、民</p>



発 言 者	発 言 内 容
三浦委員	<p>間の本音やアイデアが詰まっている。民間にすべて頼るのも難しいので、例えば、目玉となるパブリックな機能が核にあり、それは行政が主体的に進め、周辺・隣接地を民間に任せる、アイデアをいただくという複合的なプランが進めやすいと思う。</p> <p>住宅機能について、高齢者は分譲から賃貸に移る人が多く、また、もともと市内に住んでいた高齢者が駅近の賃貸に移り住む人もいる印象であるため、需要は多いと思う。</p> <p>また、公園を市として整備するのは難しい印象である。県営である彩の森入間公園はよく管理されていると感じる。</p>
織田委員	<p>駅前にシンボリックなものがあると、印象付けにつながる。</p>
関根会長	<p>本日の意見を踏まえ、事務局の方で答申案の修正作業をお願いする。次回審議会で、修正した答申案を改めて審議し、答申内容を確定したいと考える。</p> <p>その方向で進めていくとしてよろしいか。</p>
委員一同	<p>(異議なし)</p>
関根会長	<p>では、事務局はこの方向で事務を進められたい。</p> <p>以上で、協議事項（１）利用計画見直しの方向性について終了とする。</p> <p>議題が全て終了したので、議長の任を解かせていただく。</p>
事務局	<p>事務連絡</p> <p>次回の審議会日程は、４月２８日（金）午前１０時からを予定している。</p>

発 言 者	発 言 内 容
	閉会（副会長）

議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和 5 年 4 月 7 日

議 長 の 署 名

関根栄一

議長が指名した者の署名

木内 正人